

2018年12月
(No.45)

あこう社協だより



障がい者週間 特集

障がいを知りともに生きるまちへ…………… 2P

平成30年度 福祉作文入選者決定!!…………… 6P

知っ得あんしん みんなの介護保険

1.17 ひょうごメモリアルウォーク2019 参加者募集 …… 9P

まち発見!あこう福祉ニュース …………… 10P

ちょっといい話

つながり ささえあう みんなの地域づくり 歳末たすけあい運動 …… 12P

11月25日(日)西町児童遊園において、自治会主催による「三世交流ミニ運動会」が開催され、住民95名が参加しました。パン食い競争や玉入れのほか、この日のためにいきいきサロン有志で練習した『チアダン』の踊りも披露されました。

審判長を務めた橋本幸男さんは、「いろいろな競技を通して、対抗意識や助けあいが生まれた。このつながりで、秋祭りなどの伝統行事も盛り上げていきたい」と話していました。

障がい者週間（12月3日～9日）特集

障がいを知り ともに生きるまちへ



家族や友人・知人などで、障がいのある人は皆さんの周りにどれくらいいますか。改めて考えてみると、思いのほか多くいるのではないのでしょうか。今月の特集では、そうした障がいのある人の就労について、一緒に知っていききたいと思います。

就労支援センター SORA で働く井上さん。ご飯の重さを計量し、丁寧に詰めていきます。

障がいは『個性』

障がいは「身体」「知的」「精神」の3つに大きく分けられています。この3つの分類の中でも細かく分けられています。その特徴や症状は決まっていますが、それだけではなく、個人によってさまざまです。それは、障がいのある人もない人も、同じことが言えると思います。

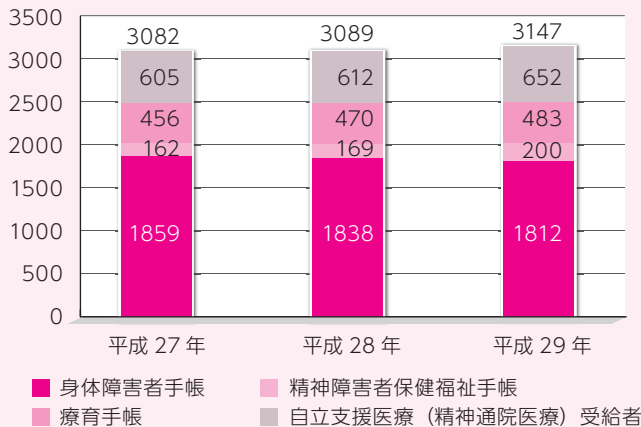
平成28年4月に施行された「障害者差別解消法」では、障がいを理由として入店やサービス提供の拒否・制限・条件を付けたりするような行為や、障がいのある人から配慮を求める意思の表明があった場合、合理的な配慮を求めます。

また赤穂市では、平成30年4月に「赤穂市みんなの和を広げる手話言語条例」が制定され、手話は言語であるとの認識を広げ、障がい者理解の普及に取り組んでいます。

その人の個性を知り、ふれあうことで障がいを身近に感じ、理解し、ともに生きる社会へと繋がります。

赤穂市における障がいのある人の人数

障害者手帳の所持者数、自立支援医療（精神通院医療）受給者数でおよその人数を把握すると、障がいのある人の総数は増加しており、平成29年3月末時点の合計で3147人、市民の約15人に1人が何らかの障がいがあると推測されます。



参考「赤穂市障がい者福祉長期計画」

『一般就労』と『福祉的就労』

今、全国には働くことが可能な年齢の障がいのある人が350万人以上いると推測されています。そのうち、一般企業に雇用されているのは約50万人です。では、それ以外の人たちはどうしているのでしょうか。

企業や公的機関などに就職し、労働契約を結んで働くことは「一般就労」と呼ばれます。それに対し、そのような働き方が難しい障がいのある人の就労は、総称して「福祉的就労」と呼ばれています。

この2つの就労の大きな違いは、職場における障がいのある人の位置づけです。一般就労においては労働者として勤務することになりますが、福祉的就労においては労働者であるとともに、サービス利用者としての立場も持つことが特徴です。

障がいのある人の就労を支援するため、「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」において、就労訓練などが行われています。それぞれの主な特徴をまとめました。

| | 就労移行支援 | 就労継続支援 A 型 | 就労継続支援 B 型 |
|------|---|--|--|
| 事業概要 | 一般就労を目指す人に対し、働くための知識や能力を身に付ける職業訓練、職場探しや就職活動のサポートを行う。 | 障がいや難病のある人が雇用契約を結び、一定の支援がある職場で働く。 | 障がいや難病のある人のうち、年齢や体力などの理由で、企業などと雇用契約を結んで働くことが困難な人が、軽作業などの就労訓練を行う。 |
| 対象者 | <ul style="list-style-type: none"> 原則18歳以上、利用開始時に65歳未満の人 企業などへの就労を希望する人 | <ul style="list-style-type: none"> 原則18歳以上、利用開始時に65歳未満の人 就労経験があるが、現在は働いていない人 就労移行支援や特別支援学校での就職活動を経たが、雇用に結びつかなかった人 | <ul style="list-style-type: none"> 就労経験があり、年齢や体力の面で一般就労が困難となった人 50歳に達している人、または障害基礎年金1級を受給している人 就労移行支援事業者などにより、就労面の課題が把握されている人 |
| 雇用関係 | — | 雇用契約あり ※最低賃金支払いあり | 雇用契約なし ※工賃支払いあり |
| 利用期間 | 2年 ※必要性が認められた場合、1年間の更新が可能 | 制限なし | 制限なし |

市内にある障害者就労施設一覧

| | 施設名 | 主な業務内容 | 住所 | 電話番号 |
|------------|-------------|--|-------------|---------|
| 就労継続支援 A 型 | げんぶ | ・クッキー、パンの販売 ・芝刈、ワックスがけ | 片浜町 227 | 45-1113 |
| | フロンティア | ・ラスク、備前焼などの販売 ・空き缶、ペットボトルの仕分け ・のぼり旗たたみ | 加里屋 1096-28 | 43-2255 |
| | はくほう | ・日替わり弁当、うどんの販売 ・草刈り | 片浜町 228 | 43-9100 |
| 就労継続支援 B 型 | 赤穂精華園 やまびこ寮 | ・季節の花苗、野菜苗などの販売 ・組立、解体、清掃 | 大津 1327 | 43-2091 |
| | 赤穂精華園 ほのか工房 | ・焼菓子、豆腐、パンの販売 | 加里屋 290-10 | 56-9660 |
| | わかば園 | ・野菜、缶バッジ、封筒の販売 ・アクセサリー、小物の袋詰め | 大津 1041 | 45-2240 |

| | 施設名 | 主な業務内容 | 住所 | 電話番号 |
|------------|---------------|--------------------------------|--------------------------|--------------------|
| 就労継続支援 B 型 | さくら園 | ・草刈り、洗車、企業内作業 | 大津 1327-56 | 42-3349 |
| | 就労支援センター SORA | ・手作り弁当の販売 ・清掃、草抜き、手芸 | 浜市 334-2 | 48-8880 |
| | みのり大地 | ・クッキー、ケーキなどの販売 ・コイルの解体、製品点検 | 山手町 10-1 | 45-0988 |
| | ワーキング 西播磨作業所 | ・さをり織雑貨、小物などの販売 ・DM 封入、発送 | 中広 1576-17 加里屋 2072-1 | 25-1265 25-4393 |
| | ピアサポート 兵庫 | ・メダカ、キャンドルの販売 ・清掃 | 中浜町 6-11 | 56-5331 |

「赤穂精華園やまびこ寮」「さくら園」「就労支援センター SORA」では、就労移行支援も実施しています。

自分に合った仕事で 個性を生かし、働く



黒川 武文さん (36)



アルミ缶・スチール缶などを瞬時に見分けながら、手早く仕分ける。カゴはすぐに満杯に。

黒川さんは知的障がいがあり、約2年前から就労継続支援A型「フロンティア」で働いています。フロンティアで行われている訓練は多岐にわたりますが、黒川さんは収集されてきた空き缶やペットボトルなどの仕分け作業を担当しています。訓練中に気を付けていることを聞くと、「仕分けを間違えないようにすること。そして誰よりも早くできるようなことに」と話します。

「彼の仕事への姿勢は、本当に素晴らしいです。いつも時間いっぱいまで集中して取り組み、その上周りへの気遣いも忘れません」と話すのは、フロンティアの理事長、井上育俊さんです。「障がいのある人はできないことが多いと思われがちですが、得意なことも多くあります。彼の得意なことの一つに、この分別があるんだと思います」と話す井上さんの横で、ときばきと作業を進める黒川さんの姿がありました。

仲間の存在が 仕事を楽しくする



リサイクル作業は、10〜13人で行います。「みんなと一緒に仕事をするのが励みになります。休憩時間は、みんなでいろいろなことを話し、本当に楽しいで

「家族に話を聞くと、「仕事を始めてから、いろいろな人と話をしてきているようで、家に帰ってきてから聞かせてくれます。周りの方にも感謝しています」と話し、目を細めていました。

次の目標は もちろん金メダル

黒川さんのもう一つ得意なことに、フライングディスクがあります。「遠くに飛ばすのが楽しい」と言うこの競技で、今年には福井県で開催された「全国障害者スポーツ大会」に出場、44m79cmを記録し銅メダルを獲得しました。仕事仲間から「次は金メダル取ってこなきゃね」との期待を受け、次の大会を目指して練習に励んでいます。



就労継続支援A型 フロンティア

利用者を第一に考え、利用者それぞれが持つ個性に合った仕事を見つけ、働くことの喜びを感じてもらうことを大切にしています。空き缶などのリサイクル作業のほか



に、焼き菓子ラスクの製造、小型家電の解体などの訓練を行っています。

(住所) 加里屋1096-28
(電話) 43-2255





岩間 正利さん (50)



この日はスタミナ弁当。肉と野菜の分量を調整し、炒める下準備を行う。

働きながら 自分の個性を磨く

岩間さんは精神障がいがあり、今は月曜～金曜、就労継続支援B型『就労支援センターSORA（以下SORA）』で働いています。そのうち木曜・金曜の2日間は、手作り弁当「SORA弁当」の調理や配達を担当しています。

午前9時、「おはようございます」と笑顔で厨房に現れた岩間さん。穏やかに笑うその姿からは、障がいがあることを感じさせません。

「細かなところにも気が付いて、明るいムードメーカー的な存在です」と紹介してくれたのは、SORA主任の濱村亮平さんです。「SORA弁当は、メニューを決めることから材料の調達、調理・配達まで、す

べてメンバーさんと一緒に行っています。一人ひとりに得意なことがあり、それを見つけて、自信を持ってもらうことが、私たちの役割だと思います」と話すとおろり、食材を切る担当やお米を洗う担当など、それぞれが責任を持って役割を担っています。

働くことが 生活のリズムに

岩間さんにとって働くことは。

「生活をするために欠かせないことです。私は体調管理が難しいので、自分の生活にリズムを作るためには、働くことがいいと思います。何といたっても、仕事終わりは

爽快感でいっぱいです」と話す岩間さんの目は、輝いていました。



一人ひとりが輝く

岩間さんの好きな言葉は「桜梅桃李（おうばいとうり）」。『桜・梅・桃・李それぞれ独自の花を咲かせる』や、『自分の個性を磨く』という意味が込められています。「自分の良さは、明るい性格で、常に前向きに考えられるところ」と話す岩間さんのように、自分の個性が分かっている人もいれば、まだ見つけられていない人もいます。そういう人のために、障害者就労施設はあります。

無限の可能性に 向かって



就労移行支援・就労継続支援B型 就労支援センターSORA

「就労したい」と言われる方々の願いを叶えたいという思いから開設され、生産活動や作業などを通じて就労に必要な自信や体力をつけながら、知識・能力の向上を目指しています。

(住所) 浜市334-2

(電話) 48-8880



平成30年度 福祉作文入選者決定!!

身近な福祉活動をテーマにした作文を募集しましたところ、小学生、中学生、高校生、一般の方より、計652点の応募をいただきました。慎重な審査の結果、次の方々が入選され、12月8日(土)に開催された「障がい者週間ともに考える市民のつどい」の席上で表彰されました。

(各部門大賞・特選・入選の方のみ)

| 【小学生の部】 | | 【中学生の部】 | |
|---------|------------------|---------|-----------------|
| 大賞 | 北川 芽依 (塩屋小学校4年) | 大賞 | 松崎 碧羽 (赤穂中学校2年) |
| 特選 | 関口 真依 (坂越小学校4年) | 特選 | 東 愛音 (赤穂西中学校2年) |
| 入選 | 鶴崎 由衣 (赤穂小学校6年) | | |
| 佳作 | 中山 結 (塩屋小学校6年) | | |
| | 北國 茉和 (赤穂小学校6年) | | |
| | 松本 優汰 (城西小学校6年) | | |
| | 児玉悠希南 (塩屋小学校5年) | | |
| | 前田 梨花 (赤穂西小学校5年) | | |
| | 馬場 美翔 (尾崎小学校6年) | | |
| | 中川萌式華 (御崎小学校6年) | | |
| | 花崎 滯 (坂越小学校4年) | | |
| | 平戸 花音 (高雄小学校6年) | | |
| | 田中 颯人 (有年小学校5年) | | |
| | 鈴木 美咲 (原小学校6年) | | |

| 【高校生以上の部】 | |
|-----------|------------------|
| 入選 | 備生 遥貴 (赤穂西中学校2年) |
| 佳作 | 安部 華純 (赤穂東中学校1年) |
| | 山田 魁翔 (赤穂中学校2年) |
| | 高倉萌々子 (赤穂西中学校3年) |
| | 水守 萌那 (赤穂東中学校2年) |
| | 金井 一八 (坂越中学校2年) |
| | 陰山 礼 (有年中学校2年) |
| 大賞 | 山田 彩依 (赤穂高等学校2年) |
| 特選 | 田前 操 (一般) |
| 入選 | 北川雄一朗 (赤穂高等学校1年) |
| 佳作 | 松本 彩希 (赤穂高等学校2年) |
| | 桶口 真葵 (赤穂高等学校2年) |

ご応募いただいた皆さまには、深く感謝申し上げます。

入賞作品は福祉作文集にまとめ、市内の学校や各福祉施設にお届けするほか、社協でも配布し、広く福祉活動の場で活用させていただきます。

◆小学生の部 大賞◆

『わたしにもできること』

塩屋小学校4年 北川 芽依



みなさんはヘアドネーションを知っていますか。わたしは去年、お母さんにすすめられて、妹といっしょに伸ばしていたかみの毛を初めて、だれかのために役に立ててもらうために切りました。

ヘアドネーションは病気やケガでかみの毛がなくなった人に、人のかみの毛で作った医りよう用のかつらで、少しでもえ顔を取りもどしてもらえるようにする活動です。この活動にお金はありません。でも、作った毛ではなく、全部、人のかみの毛で作るので、ひとつのかつらを作るのに二、三十人分のかみの毛が

必要です。かみの毛の長さも一回に三十一センチメートル以上必要です。

わたしはお母さんにヘアドネーションのことを教えてもらったとき、自分にもできることがあるのだと知り、やってみようと思いましたが、かみの毛が伸びるまでの間、病気やケガで困っている人のことを考えることができませんでした。つらくても病気とたたかっている人たちの助けになるように、かみの毛を大事に洗いました。自分でかみの毛を切つて送ることもできませんが、わたしは、美容院で切ってもらうことにしました。美容院に行くとき、車でお父さんに乗せて行ってもらいましたが、お父さんも病気やケガで困っている人のことについて考えたと言っていました。かみの毛を切ることは、とてもかんたんですけども同じことなのに、妹といっしょにかみの毛を切ってもらっているとき、とても心があたたかい気持ちになりました。ヘアドネーションをすることがす

ごいことではなく、人の気持ちを考えることが大切だと思えました。

そしてもう一つ、とてもうれしかったことがありました。わたしと妹がヘアドネーションをしたことを知った、お母さんの友達と妹のようち園の先生もヘアドネーションをしました。

わたしにできることはかみの毛を大事に伸ばして切るという小さなことです。自分がすることで人のわをつなげることができました。そして、病气やケガで困っている人の気持ちを考えることのできる人がふえて、人を助けることにつながると思えます。わたしは今も妹といっしょにかみの毛を伸ばしています。また、き会があればヘアドネーションをしたいと思えます。



◆中学生の部 大賞◆ 『見えていないこと だけじゃない』

赤穂中学校2年 松崎碧羽



僕は、小学生の時に、視覚障がい者を体験するハンディキャップ学習を受けました。それは、目の見えないうちとサポートする方の両方の立場を体験するものです。アイマスクをして、パートナーの声だけを頼りに歩くという単純な内容でしたが、実際にやってみるとかなり怖かった事を覚えています。普段、何気なく見ている風景を想像しながら、何かにぶつかるんじゃないか…という不安な感覚が長く続いて、かなりのストレスを感じました。

また、サポート役に交代した時も、言葉で説明しな

から周囲の状況を相手に伝えるというのは、小学生だった自分にとってすごく難しかったです。

そんな体験をして、数年経った今年の春のことでした。

テレビでピン芸人日本一を決める「R-1グランプリ2018」を見ていたら、白い杖を手にした芸人が、舞台上立って漫才を始めたのです。

その芸人の名前は、「濱田祐太郎」さんという人で出身の二八歳。三万人に一人の割合で発症する先天性緑内障という病気で、生まれつき盲目であったようです。もちろん、R-1グランプリに目の見えない芸人が出るのは初めてのことだと思えます。

しかし、テレビを見て最初に思ったことは、障がい者の人が舞台上立ってネタを始める時、「どんな空気になるんだろう？」とか、「本当に笑ってしまっても良いのか？」というものがかりでした。

そんな中、盲学校時代のエピソードを笑いに変えて、「視覚障がい者あるある」や「盲学校あるある」ネタを披露しました。これは笑える、めっちゃ面白い！

目の見えていない僕達には想像できない感じ方をしてる濱田さんは、盲目の方々にしか分からない世界について、明るくネタを通して教えてくれていたみたいでした。

目の見える情報だけで物事を判断してしまう僕達とは全く異なる感覚でした。

その後、見事R-1グランプリのチャンピオンになった濱田さんは、ある雑誌の対談で「障がい者をネタにした笑いはタブー視されがちだが？」という質問に対して「受け取る人によつてとらえ方は違うと思いますが、僕は別にタブーとは思ったことはない。両方の意見があつて当然なので。」

また別の質問では「他の障がいを持った方を勇気づけたい思いはあるか？」と

の問いに、「特にないですがどね。そう思われがちなんです。お笑いを通じて障がい者への偏見を無くすため、勇気づけるためにやっているので…。僕のネタを見て勇気づけられるのであれば、障がいがあっても無くても変わらない。」僕は、テレビをつけた時の思いが恥ずかしくなってきました。

あの時思った事は、障がい者を見かけただけで判断していたのでした。

目が見えないことは「不便」で「かわいそう」などと勝手に決めつけていた事が失礼だったし、それぞれ障がいに応じて僕達には分からない世界もあるんだなと感じました。

僕たちの「障がい者」という思いとは違い、「普通の人間ですよ」「君達と変わらないでしょ？」という感覚は心もバリアフリーなんだと思えました。

濱田さんは以前、街中で声をかけられてサポートしてくれた若い女性が印象に残っていると書いていま



た。
 「知らない人に声をかけるのは怖くないですか？」と聞いたら、「私の友達で困っている方を助ける人がいて、私もそうなりたいと思っていました」と答えが返ってきました。すごくいいなと思いました。」

僕もこのひと声は何気なくかけられる様、これから、自分の中の思い込みや決めつけを無くしていき、人権問題を正しく理解できるよう学んでいきたいと思いました。

◆高校生以上の部 大賞◆ 『近くにあったこと』

赤穂高等学校2年 山田彩依



「ボランティア参加せえへん？」

クラスの担任の先生から言われた言葉。その言葉に返事するには時間がかかりました。でも、今では私の素敵な体験になっていきます。

私が中学二年生の時に、地元の老人ホームへ初めてのボランティアに参加しました。人数合わせの為に集められ、「予定もないし行ってみるか。」くらいの気持ちでした。いざ参加してみると、五、六人のお年寄りに私一人が入ることになりました。私は不安でいっぱいでした。急に、自分に出来るんかな？何話せばえんや

ろ。という思いになり、軽い気持ちで参加したことが恥ずかしくなりました。

音楽部の演奏を終えた後、グループで話をしたり体操をしました。私は緊張でガチガチでしたが、一人のおばあちゃんが私によく話かけてくれました。それがフミさんです。

フミさんは、「名前は？期末考査は終わったの？」と聞いて下さって、「私はね。」とたくさんの話を聞かせてくれました。それは今まで感じたことのない楽しさでした。友達と話をしている感じられない気持ち。でもなんだか楽しいなという思いでした。

フミさんだけでなく、周りの方々皆が一緒になって遊んだり話をしたりしているのを見て、私は自分達みたいだなと思いました。老人ホームにいる人だから：という言葉はきつと間違いだったんだと。私達と同じで、話を聞いてもらおうと嬉しいし、地域の人と話をすれば「なるほど！」って思うことあるんだと。

ボランティアの終わる時間が近づき、お別れのあいさつをしていると、

「今日はありがとうね。若い子と話せてうれしかったよ。」

と、言ってもらえ、喜んでもらえて良かったなあ……。もっと話したかったなあ……。と思えるようになっていました。

ボランティアに参加し、今まで考えたこともなかった老人ホームという場所が大きな役割を果たしていることや、私達にも必要となるお年寄りとの交流の場。大切なことはすぐ近くにあったのに、いつの間にか知らない振りをして、「私には関係のないもの」として捉えてしまっていた自分ごとでも恥ずかしく思えました。それと同時に私の中に、人の役に立つ事ってすごい」という言葉が生まれました。

活動中の私はどこかぎこちないけど、でも、体操の仕方を一緒にやって教えてあげたり、手が届きにくそうだと手をスツと出すこと

ができて、自分すごいやん！」って思ってしまったって、小さい事だけできつとこれが私を成長させる材料になるんだと思います。

今まで無縁だと思っていたボランティア。でも、それは参加した人しか分からない達成感・責任感でいっぱいの大変な仕事でした。この体験を機に私はその後、老人ホーム訪問ボランティアや地域・駅前の清掃ボランティアに参加しました。まだまだ私には学ぶ事だらけだけど、高校生の今のうちにたくさんの事を経験していき、将来の夢を考える材料にしていきたいと思いました。

最後にフミさん。素敵な体験させていたただいてありがとうございます。また、素敵な笑顔を見せて下さいね。



し 知っ得あんしん

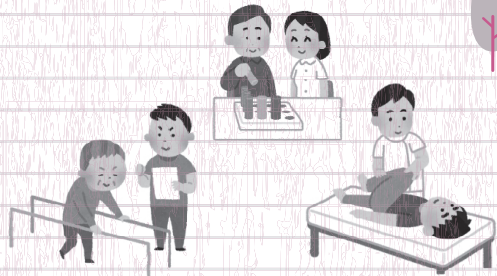
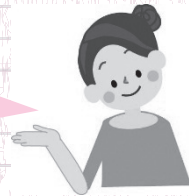
みんなの介護保険

『デイケアサービスについて』

デイケアサービスは「通所リハビリテーション」とも言われ、病院や介護老人保健施設などの医療施設で受けられるサービスです。主治医の指示のもと、療法士による作業療法、理学療法、言語聴覚療法などのリハビリテーションを行います。

利用者が、日中に一定時間施設を利用するという点はデイサービスと同じですが、その目的は介護サービスを受けることではなく、リハビリテーションを受けることです。

担当ケアマネジャーと相談しながら、本人に合った場所を見つけてください。



メインは、専門家による個別のリハビリ



入浴、食事、レクリエーションなど

賛助会費 ありがとうございます

(敬称略)

【個人】 匿名 1名

福祉の拠点をみんなで支えてください。

(法人会費：5,000円、個人会費：2,000円、一般会費：500円)

賛助会費は、社会福祉協議会の貴重な財源です。安定した地域福祉事業の充実や発展を図るためにも、皆様のあたたかい援助が必要です。ご協力をお願いいたします。

心配ごと相談所のご案内

(12月12日～1月9日まで)

【一般相談】 12月12日(水) 12月26日(水)
1月9日(水)

【弁護士相談】 (要予約) 12月19日(水)

【カウンセラーによるこころの相談】 (要予約)
12月26日(水) 1月9日(水)

※時間はいずれも午後1時～5時までです

※相談は無料です
(問合せ) 社協 ☎42-1397

あなたのやさしさを善意の窓口へ——

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました
預託状況(11月1日～11月30日受付分)



●委任預託

(敬称略)

| 住 所 | 預 託 者 | 金 額 | 預 託 内 容 |
|------------------|-------|--------|-----------------|
| 高雄国民学校いよいよ会 | | 30,394 | 同窓会残金を |
| 尾 崎 匿 名 | | 3,000 | 車椅子借用御礼 |
| 加 里 屋 匿 名 | | 50,000 | 車椅子借用御礼 |
| 赤穂市いずみ会 | | 5,000 | しあわせフェスティバル売上金を |
| 御 崎 匿 名 | | 20,000 | 福祉のために |
| ボランティアグループてんとうむし | | 3,768 | しあわせフェスティバル売上金を |
| ダイネン(株)赤穂営業所 | | 10,000 | 大感謝祭売上の一部を |
| 北 野 中 匿 名 | | 50,000 | 亡父満中陰志 |
| 赤穂市社協職員一同 | | 18,319 | しあわせフェスティバル売上金を |

◎善意銀行受付窓口・・・赤穂市社会福祉協議会◎

～1.17ひょうごメモリアルウォーク2019～ 参加者募集!!

- 日程 平成31年1月17日(木)
午前7時福祉会館出発
午後5時30分帰着(予定)

- 内容 「1.17ひょうごメモリアルウォーク2019」
→5kmのコースをゆっくり歩きます。
「1.17のつどい」
→つどいに参加し、震災を語り継ぎます。

- 募集人数 20名(定員になり次第締め切り)
- 参加費 一人1,000円(昼食代は別途自己負担)
- 申込締切 1月10日(木)
- 申 込 先 赤穂市ボランティアセンター
☎42-1397





今年も豊作

11月4日(日)、駅東パートナーサービスで、集会所前に作られた『駅東農園』で立派に育ったサツマイモを、参加者約40名で収穫しました。採れた芋はさっそく焼き芋となって参加者に振る舞われ、お腹いっぱい秋を感じました。



地域福祉の推進へ連絡協議会設立

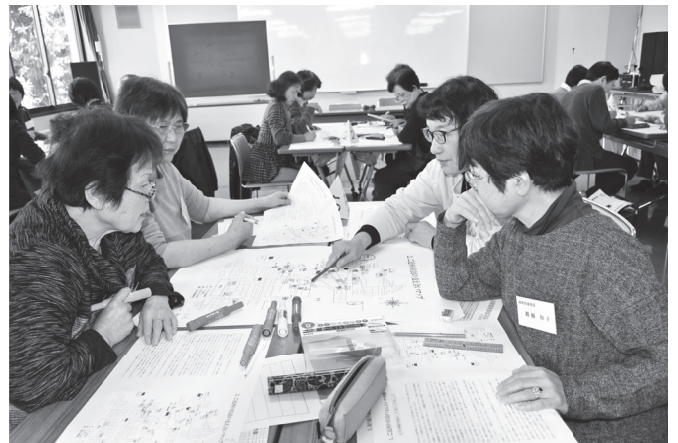
11月14日(水)、赤穂市内に拠点を置く10の社会福祉法人が集い、「赤穂市社会福祉法人連絡協議会」を設立しました。県内でも立ち上げが進んでおり、赤穂市は県内24番目での設立となりました。社会福祉法人が持つ公益性と専門性を発揮しながら、地域福祉の推進に取り組んでいきます。



他市町のサロンはどうしてる？

11月の4日間、赤穂市でいきいきサロンに取り組むメンバーが、太子町のいきいきサロンに参加し、スタッフや参加者と交流しました。自分たちのサロンで取り入れられそうなヒントを得て、これから実践していきます。

まち発見! あこう福祉ニュース



疑似マップを使って助けあいの発見を

11月15日(木)、赤穂地区福祉推進連絡会による研修会が開催され、35名が参加しました。疑似マップという架空の地図を元に地域の中での支えあいの発見を行いました。「保育士の資格をもつ〇〇さんはこの家庭を手伝えるかも？」など、活発な意見が出され、「もちつもたれつ」の関係が住みよい地域づくりに繋がることを学びました。





ボランティアによるお祭り

11月18日(日)、穏やかな秋晴れのもと、「第36回し・あ・わ・せフェスティバル〜フクシふれあいまつり〜」が開催されました。

当日はステージでの催しや福引、模擬店や福祉体験などが行われ、約2,500人の来場者がまつりを楽しみました。



実行委員長
潮海忠生さん



今回で3回連続となった実行委員長に選ばれてからの半年間、催しの調整などの準備で忙しく、あっという間に当日を迎えました。

例年以上に穏やかな秋晴れの中、無事成功のうちに終わることができました。次回も、多くの人に参加してほしいです。



◎私はほぼ毎日御崎の観光道路をウォーキングしているが、「他の道路に比べるとゴミが落ちていない」と感じていた。ある日、いつものようにウォーキングをしていると、大きなゴミ袋とゴミ拾いのハサミを持った男性に出会った。お話を聞くと、7年前から散歩のついでに、1時間ほどかけて「ゴミ拾い」をされているとのこと。いくら散歩のついでとはいっても、7年も続けておられるとは。

人知れない努力に、感謝と感動のひと時だった。
(あーちゃん)

「ちよつといい話」募集
(応募方法)氏名(ペンネーム)・年齢・性別・電話番号を明記し、持参・郵送・Eメールのいずれかでご応募ください。2000字程度にまとめてください。
※送付先は、下記をご覧ください。

12月1日
スタート

つながり ささえあう みんなの地域づくり 歳末たすけあい運動



「歳末たすけあい運動」は、地域住民やボランティア、まちづくり連絡(推進)協議会などの関係機関・団体の協力のもと、誰もが地域で安心して暮らし、あたたかい気持ちで新年を迎えられるよう、住民の参加や理解をいただきながら、福祉活動を重点的に展開するものです。

歳末たすけあい運動で寄せられた募金は、右記事業のほか、「要保護・準要保護世帯児童生徒お年玉」、「養護老人ホーム・児童福祉施設・障がい者福祉施設(市内)入所者たすけあい金」、「赤穂精華園・さくらこども学園教材費」、「友愛訪問事業」、「二世交代交流事業」、「生活困窮者支援」、「ひとり親家庭ランドセル購入助成」、「ひとり親家庭中学生体操服購入助成」などの事業へ配分されます。平成30年度は750万円を目標に募金を実施します。今年も、皆さまのあたたかいご協力をお願いいたします。



地域のつながりづくり
三世交代交流もちつき大会



編集後記

12月になり、寒い冬がやってきました。私はこの時期になると、毎年手足の“しもやけ”に悩まされます。幼い頃に「大きくなったら治るから」と親に言われ、それを信じてきましたが、どうやら違ったようです(還暦をとっくに過ぎた父も、未だに悩み中)。

この冬こそ、しもやけに負けないぞ!・・・と気持ちを持って、今年残り1カ月を過ごしていきたいと思います。
(荒)

ご意見・問い合わせは **ホームページもぜひご覧ください!**
社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会 〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 / FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

赤穂市社協 検索